

**「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」をテーマに
「次世代郊外まちづくり」をさらに田園都市線沿線に展開します！
～横浜市と東急株式会社が共同で進めるまちづくりの包括協定を更新～**

横浜市と東急株式会社(以下、東急)は、2012年4月に締結し、2017年4月に更新した『「次世代郊外まちづくり」の推進に関する協定(2022～2027年)』を4月1日付で更新しました。

「次世代郊外まちづくり」は、横浜市北部地域の田園都市線沿線の郊外住宅地において、既存のまちが抱える様々な課題を産学公民連携によって解決していく、住民参加型・課題解決型のプロジェクトです。

協定締結から10年間、モデル地区である「たまプラーザ駅北側地区(横浜市青葉区美しが丘一、二、三丁目)」を中心に、「田園都市で暮らす、働く」の実現に向けて、地域活動の支援や交流・就労機能等の整備、起業支援、「プロボノ(※)」による地域課題の解決などを推進してきました。2021年7月には、青葉台駅周辺に交流と就労の機能が併設・連携した施設を整備するなど、モデル地区以外の地域にも取組を展開しています。(別紙1参照)

(※)「プロボノ」:ラテン語の(Pro Bono Publico)に由来し、社会人経験で得られた業務経験やスキルを活かして行うボランティア活動を指す

【協定更新の概要】

■ 「暮らす、働く住宅地」から、「暮らす、働く、楽しむ住宅地」へ

まちづくりの活動が持続、展開していくためには、産学公民それぞれが「新しいつながりやサービスが生まれることの楽しさ」を実感して参画することが重要であるため、今後はこれまでの取組に「楽しむ」要素を融合させた自由で豊かなライフスタイルの提案をしていきます(別紙2参照)。

■ モデル地区から沿線展開へ

交流や地域活動の支援などモデル地区で得た成果を踏まえ、地域独自の人のつながりや自然、公的空間などの資産を生かした取組を田園都市線沿線全体(横浜市北部地域)に広げていきます。

■ 4つの地域循環の創出

- ①脱炭素社会の推進に向けた「環境の循環」、②まちづくりの担い手を生み出す「世代を超えた交流の循環」、③住民のスキルを地域に生かす「人材スキルの循環」、それに伴う④「地域経済の循環」を掛け合わせた仕組みづくりを目指します。

【2022年度の主な取り組み】

■ サステナブルな次世代ライフスタイルプロジェクト

脱炭素社会の推進に向け、地域の資産や地域交流拠点(WISE Living Lab)を活用しながら、新しい暮らし方、移動のあり方を考え、学び、提案する場を住民、学校、企業等と連携して創出します。

■ 地域による地域課題解決の仕組みづくり

これまでに実施してきた「プロボノ」をはじめ、住民や企業のスキル、ノウハウを生かした地域課題解決の取組を実施します。また、地域の課題解決の担い手や活動が持続していくための仕組みづくりを検討します。

■ 次世代郊外まちづくり「トークフェスタ」(別紙3参照)などの開催

田園都市線沿線の住民、学校、企業、行政が共に新しい暮らし方・働き方・楽しみ方を考え、体験するトークセッションやワークショップを中心としたイベント「トークフェスタ」を実施します。そのほか、沿線にある拠点や資産を生かした「働く」、「楽しむ」イベントの開催を予定しています。

詳細は別紙の通りです。

| | 年 月 | 主な取り組み | |
|--------|--------|---|--|
| 1期 | 2012年度 | 4月 | 横浜市・東急「次世代郊外まちづくり」包括協定締結 |
| | | 6月 | モデル地区「たまプラーザ駅北側地区（美しが丘一丁目・二丁目・三丁目）を選定 |
| | 2013年度 | 6月 | 「次世代郊外まちづくり基本構想2013」を策定 |
| | | 6月～ | 「リーディングプロジェクト」の推進 以降、地域活動支援、在宅医療と介護連携、企業連携による社会実験等を実施 |
| 2016年度 | 2月～ | 地域活動拠点「WISE Living Lab」オープン 地域活動支援「サポート企画」スタート | |
| 2期 | 2017年度 | 4月 | 横浜市・東急「次世代郊外まちづくり」包括協定更新 |
| | | 9月～ | リビングラボ勉強会開催 住民・企業・大学・行政が集まり講演やワークショップを通じて取り組みを推進 |
| | 2018年度 | 4月～ | 「田園都市で暮らす、働く」の実現に向けたプロジェクトスタート 田園都市線沿線での豊かで新しい暮らし方・働き方の創出を目指した取り組み |
| | | 7月～ | 企業社宅跡地に、多世代型住宅、交流・就労・子育て施設の複合施設「ドレッセWISE たまプラーザ」竣工 一般社団法人ドレッセWISEたまプラーザエリアマネジメント設立 地域利便施設「CO-NIWAたまプラーザ」開業 |
| | | 11月 | 「田園都市で暮らす、働く」シンポジウム開催 |
| | | 1月～ | 地域移動（郊外型MaaS）社会実験開催 |
| | 2019年度 | 4月～ | 地域活動支援「共創企画」スタート（～2021年度までの取り組みの一例） ●地域の学校との連携（元石川高校・桐蔭学園中等教育学校） ●美しが丘アセス委員会100段階プロジェクト ●慶應SFC M-NEXプロジェクト |
| | | 6月～ | リビングラボの推進 ●KDDI総合研究所×子育て中のママによる「サードプレイス」デザイン ●NTT×NTTdocomo×たまプラコネクによるICT、IoT技術を活用した「たまプラ・リビングラボ」プロジェクト 2019年度：「たまぷらボット」「まちあるきマップ」 2020年度～：上記に加え地域通貨「まちなのコイン」 ●ソフトバンク×向洋電機土木×住民による郊外住宅地での新しい働き方「ショートタイムテレワーク」 |
| | | 9月 | 「田園都市で暮らす、働く」各プログラムスタート：くらすBar、拠点歩き、小商い起業講座、プロボノ講座、セカンドキャリア地域起業セミナー |
| | 2020年度 | 4月～ | 「田園都市で暮らす、働く」各プログラム推進 ●セカンドキャリア地域起業セミナー：ソーシャルビジネスの基礎を学ぶ連続セミナー実施 ●プロボノ講座：基礎を学ぶとともに、実際に青葉区の団体の支援活動を実施 2020年度：GrASP、日体大FIELDS 2021年度：こどもの国、Studio&CafeBALENA、アオバザール合同会社、医療法人社団博慈会青葉さわい病院 |
| | 2021年度 | 7月 | 「スプラス青葉台」開業 沿線展開として青葉台郵便局の空き区画を活用した地域交流拠点、就労の場 |

以 上

「次世代郊外まちづくり」目指すまちの姿

コミュニティ・リビング（※）の考えのもと、交流拠点がまちに点在することで、新しい「つながり」が生まれ、住民や地域の企業等の交流や活動も活発になることが期待できます。また、住民や企業の想いやスキルを地域に活かすことで、様々な方がまちに関わり、暮らしもより豊かになっていくと考えています。「次世代郊外まちづくり」はこれまでの活動を踏まえ、自由で豊かなライフスタイルの実現に向け、取組を進めていきます。



（※）コミュニティ・リビング

歩いて暮らせる範囲に、買い物、福祉、医療、子育て、コミュニティ活動など、地域に必要な機能を適切に配置し、それらを密接に結合させていく考え方で「次世代郊外まちづくり」を進める上で、主要な理念として位置付けています。

「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」トークフェスタ

次世代郊外まちづくりが 2022 年度に協定を更新するにあたり、これまでの活動報告を行うとともに、2022 年度以降の活動方針である「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を紹介します。

また、「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を体現している方をお招きしたゲストトークやワークショップを通じて、次世代郊外まちづくりの目指す「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」や取り組みを沿線展開していくことを参加者にも共有、体感していただく機会とします。

【概要】

日 程：2022 年 5 月 22 日（日）13：00～16：30

場 所：プラス青葉台（東急田園都市線青葉台駅下車 徒歩約 3 分）

定 員：30 名 ※会場内イベントはどなたでも自由にご参加いただけます。

対 象：青葉区に関わりのある人、次世代郊外まちづくりに興味・関心がある方
「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」に興味・関心のある方 など

第 1 部：次世代郊外まちづくりの活動報告・発表

これまで住民の方と取り組んできた活動や「田園都市で暮らす、働く」に関する取り組みについてご報告すると共に、協定更新のポイントや 2022 年度の活動内容についてご紹介します。

第 2 部：ゲストトーク

「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」を実現しているゲストによるピッチトークを実施します。

＜ゲスト＞

- ・林 月子さん（たまプラー座まちなかパフォーマンスプロジェクト代表）
- ・藤井 本子さん（100 段階プロジェクト代表／街のはなし実行委員会代表）
- ・渡邊 菜摘さん（SPRAS AOBADAI コミュニティビルダー）
- ・村野 浩一さん（日体大 SMG 横浜 ホームタウン協議会 事務局長）
- ・元石川高校（アントレプレナーシップ担当教諭）
- ・小野 祐樹さん（三菱ケミカル株式会社 研究推進部 コラボレーション推進マネジャー）

* アドバイザー：東京大学大学院 まちづくり研究室 小泉秀樹教授

第 3 部：ワークショップ（ワールドカフェ）

「田園都市で暮らす、働く、楽しむ」について参加者で語り合うワークショップを実施します。

終了後はゲスト、参加者、マルシェ出展者による交流会を予定しています。

その他：会場内での展示、イベントなど

マルシェでの物販、地域活動団体の紹介、情報発信コーナー、パネル展示等を実施します。

参加方法・お問い合わせ先

以下 URL より受付いたします。（先着 30 名）

<https://forms.gle/qPrtG7X4wdxqxGSdA>

お問い合わせ先：info.sankakubase@gmail.com / 045-671-2954（横浜市建築局住宅再生課）